



双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 令和7年6月24日号

学校教育目標「自ら学び、未来を創造できる生徒の育成」～楽しくなければ学校ではない～

梅雨の時期に入り、体調を崩す人もいます。天気痛と言われますが、雨が降ったり、気圧の変化があると、頭痛や体調不良を訴える方がおられます(私もその一人です)。しかし、この季節が過ぎると夏が訪れ(と言っても、最近の夏は暑すぎますね)、待望の?夏休みですね。日々の生活の中でも、何かを目標にしたり、期限を決めて何かをやり遂げるなど、メリハリをつけることが実は自分の成長につながっていると思います。目標に向かうために努力をしたり、あるいは何かを我慢したり。そのような繰り返し、日々の充実につながっていると感じる今日この頃です。

➤ 第1回定期テスト

6月4～6日の3日間、定期テストが行われました。1年生は初めての定期テストとなりましたがどうでしたか?テスト1週間前ぐらいになると、夜まで頑張って勉強したので、体調を崩すということを毎回よく聞きます。勉強を頑張ることはとても素晴らしいことですが、本番で100%の力を発揮できないとなると本末転倒となりかねません。勉強も大切ですが、健康も大切。そのバランスを上手にとれるように計画すること。このような力を中学生のうちに身に付けましょう。

➤ 3年生修学旅行



6月11～13日、定期テストが終わって次の週に3年生は修学旅行へ向かいました。1日目は梅雨空でしたが2日目からは晴れて暑かったです。田植え体験や旧民家でのかまどを使って食事を作るなど、普段では経験できない体験。それぞれ目的をもって学んだことでしょう。保護者の方々と色々話ができましたか?



➤ ちょっと一言

6月3日、長嶋茂雄さんが亡くなりました。報道では大きく取り上げられました。みなさんの世代では知らない方が多いのでしょうか。連日報道されているとどんな人なの?と思いませんか。我々昭和生まれの人だと、年代によっては選手時代と監督時代とに別れるようですが、知らない人はいないと思います。子どもから大人まで、野球を全く知らない人も含めてみんなが知っている人でした。野球をやるときは誰が長嶋で王?関西ではそれに加えて、田淵か掛布か。昭和を代表する方々が年々いなくなられます。当たり前なのですが、年齢的にもそうなります。アンチ巨人でも長嶋さんのことは好きだとよく聞きます。たくさんの方々を楽しませ笑わせ幸せにした昭和の大スター。みなさんは平成生まれです。平成の大スターと言って、子どもから大人まで知っている方はおられるでしょうか。昭和には何人もいました。戦争もあった激動の時代でしたが、今振り返ると、不便であり、今のよう情報や物もなく、しかし、日々の生活は充実していたように思います。今は情報が溢れ、個々人の個性が尊重され、好きなものや嫌いなものは人それぞれ。どちらの時代が良いとの判断はできませんが、世間の人々が同じように喜び、楽しみ、時には悲しみ、苦しみ。それが昭和だったように思います。平成から令和では、ネットの普及により、それぞれがつぶやき、その一言で苦しむ方がいることが多い気がします。長嶋さんのように『鯖という字は「魚へんにブルー」』と言って、みんなが笑い、和むような、そんな世の中が良いですね。ご冥福をお祈りいたします。

➤ NSCから保護者のみなさまへ

4月から発足しましたPTAに変わる新しいボランティア団体「NSC」についてお知らせします。新1年生の協力届(加入率)は約82%となり、全学年のトータルは約71%まで回復しました。協力していただける保護者のみなさま、ありがとうございました。年度当初にも連絡したように、何か必要な活動があれば、その都度ボランティアを募集していきます。また、会費については、運営費用以外は、周年記念行事や生徒の学校生活に関連するものに活用していきます。良い提案などがあれば常任サポーターや学校にご連絡願います。よろしくお願いいたします。